

おめでとう

お誕生日	道部 秉君	1936.5.25
結婚記念日	尾形充生君	1962.5.26
	小林 俊君	1983.5.29
入会記念日	林田 充君	2008.5.27
	澤入義幸君	2008.5.27
	奈良橋篤君	2008.5.27

理事会報告

5/25臨時理事会

1. 春日謙一氏の入会申込について 承認
2. クールビズの実施について 承認

スマイルボックス

道部 秉君・望月照元君：誕生日のお祝いありがとうございます。

尾形充生君・小林俊君：結婚記念日のお祝いありがとうございます。

林田充君・澤入義幸君：入会記念日です。

山本倫弘君：積ガバナー補佐よろしくお願ひします。

松田達也君：西森君の後任の春日謙一君をよろしく。

安保利和君：すみません。早退します。

卓話

ガバナー補佐期末訪問

～カーネル・サンダースの襟章～

ガバナー補佐 積惟貞様

「ケンタッキー・フライド・チキンのカーネル小父さんはロータリアンだったのです。その証拠にロータリーのエンブレムを左の襟につけています。」ロータリーの先輩の道部PGに教えられたのはかなり昔の話です。おそらくロータリアンの皆さんも何処かでお聞きになりご存知のことと思います。



本名ハーランド・デヴィッド・サンダースは1890年9月9日、インディアナ州ヘンリービルに生まれました。6才で父を亡くし、幼い弟、妹の面倒を見、その時から料理好きだったと言います。15歳から働き始め、路面電車の車掌を皮切りに、軍隊、消防士、保険外交員、船乗り、タイヤ売り、ガソリンスタンドなどで働きました。(10歳から小学校に通いながら近所の農場で働き、中学の時年齢を偽って軍隊に入ったが、ばれて2ヶ月で除隊になったとの説もあります。) 22歳の時にインディアナ州のジェファーソンビルに転居し、ここでも転職を繰り返しつつ最終的にガソリンスタンドの経営に着手します。その頃(1920年) 29歳でジェファーソンビル・ロータリークラブにチャーターメンバーとして入会しました。

1930年ケンタッキー州コービンにガソリンスタンドを移転した際に「サンダース・カフェ」を併設、ここでのフライド・チキンが美味しいと大繁盛、そこで本格的レストランを建設、「ケンタッキー・フライド・チキン」の商標で大々的レストラン経営に乗り出します。1935年には州知事からカーネルの称号を受けるほどになりました。ところが1952年ハイウェイが離れたところに開通し、コービンに車が通らなくなったので一度は廃業を決意しましたが、フライド・チキンの製造法を教えるフランチャイズ化する方法を思いつき、ユ

タ州ハーマンズ・カフェで最初の契約を得た後、10年間で全米600のレストランと契約を結ぶにいたったと言います。1980年90歳で急性白血病に肺炎を併発して亡くなりましたが、生涯現役を唱え、経営の基本を四つのルール(ロータリーの四つのテストとほぼ同じ)に置いていたと言います。また彼は経営上の多くの言行を残して居ますが、その第一にシェルドンの「He profits most who serves best.」が或ることは特筆すべきです。ロータリーの職業奉仕の理念を忠実に実行し成功した大先達と言えます。

店頭ディスプレイされたカーネル・サンダース像は1979年「KFCインターナショナル北太平洋地域オフィス」が日本に設立され、視察に訪れた日本法人のスタッフが、倉庫に放置された像を持ち帰って店頭で置いたのが始まりで、モデルはカーネル60歳の等身大、身長173cm眼鏡は本物の老眼鏡だそうです。晩年、89歳で本人が来日した際、大変気に入ったと言うことで、アメリカの総本部にも日本法人提供の像が展示されているそうです。日本国内各地の店舗で各種衣装やユニホームなどを着せられることがありますが、秋葉原店でメイド服を着せたと流石日本法人から中止の要請があったと言います。話題を呼んだのは1985年阪神のリーグ優勝の際、ファンが道頓堀店の像を、バスに見立てて川に投げ込んだ事件です。その後「カーネル・サンダースの呪い」で阪神が優勝できなくなった。それは彼がフリー・メイスンで仲間が呪いの儀式をしている為だと巷で囁かれたりもしました。それが2009年3月10日川から発見されまた話題をさらいました。その広告効果は27億7679万円だそうです。その左の襟にはバッジをつけていた穴が2個あいていました。実は上のバッジこそロータリーのエンブレムですが、下のバッジはフリー・メイスンの付帯団体シュラインのもので、彼自身来日の際には東京のグランド・ロッジに必ず顔を出したと当時のグランドマスター片桐三郎氏が何かで語ったのを記憶していますが真偽の程は明らかではありません。